

とうきよの教育

第96号
中学校版
平成24年1月



東京都教育委員会

ホームページ <http://www.kyoiku.metro.tokyo.jp/>

東京都教育委員会(教育庁)では、都民の皆さまからの提言やご意見・ご要望をメールで受け付けておりますので、お寄せください。

東京の子供たちに、どんな印象をもっていますか？

～「東京の子供たちの豊かな心の育成に関するアンケート調査」の結果から～

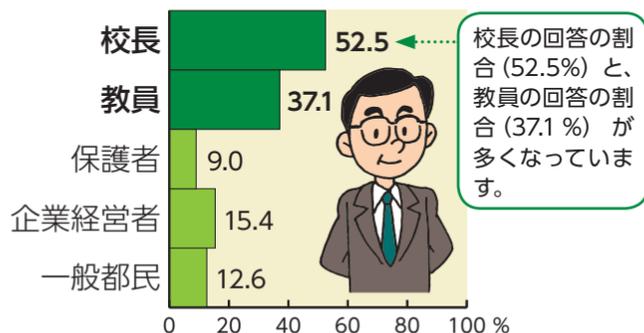
東京都教育委員会は、平成22年11月上旬から12月上旬にかけて、「東京の子供たちの豊かな心の育成に関するアンケート調査」を実施しました。このアンケート調査の結果で明らかになった、大人たちがもっている子供たちへの印象や、子供たちに伝えていきたいと感じていることから、次代を担う子供たちに豊かな心を育むための道しるべを明らかにしていきます。

※本記事の「東京の子供たち」とは、「東京の小・中学生」をいいます。

東京の大人の皆さん、7,482人にお聞きしました！

対象者別では…

規範意識が足りないと感じた方の割合 (%)

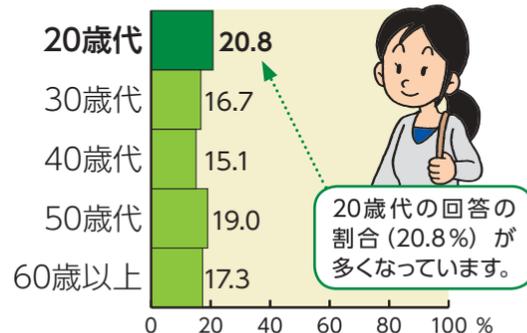


最近の東京の子供たちの印象は？

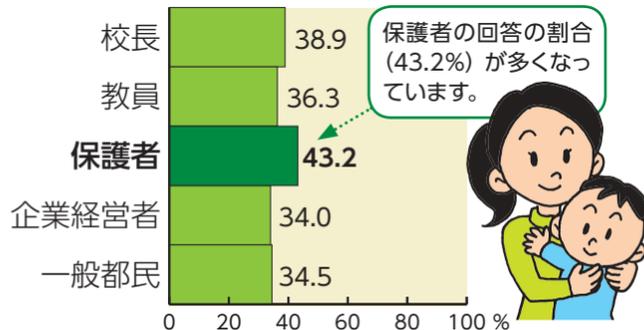


年齢別では…

個性的であると回答した方の割合 (%)



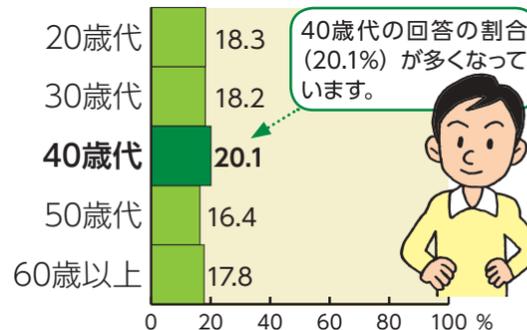
言葉遣いが悪いと感じた方の割合 (%)



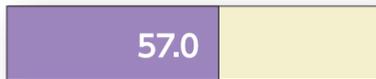
「新しい機器に順応性がある」との印象をもっている方は62.0%



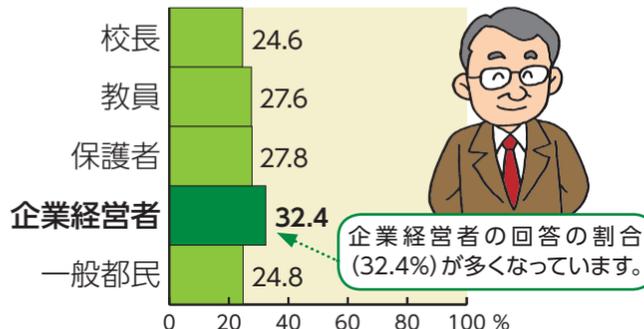
集団で群れたがると感じた方の割合 (%)



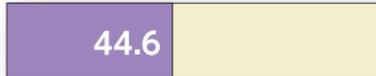
「忍耐力がない」との印象をもっている方は57.0%



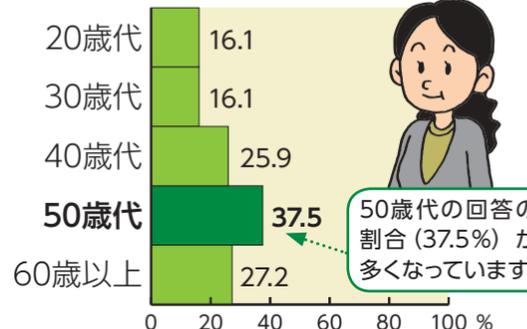
あいさつができないと感じた方の割合 (%)



「自己中心的である」との印象をもっている方は44.6%



やすきに流れると感じた方の割合 (%)



「東京の子供たちの豊かな心の育成に関するアンケート調査」とは？

21世紀の東京都の創造的発展を担う、児童・生徒の豊かな心の育成に関する施策を検討する際の資料として活用するため、東京都教育委員会が都内全公立小・中学校、中等教育学校の校長、教員(各校1名)のほか、保護者、企業の役員・経営者、一般都民を対象に実施した意識調査です。

調査回答者(7,482人)の状況

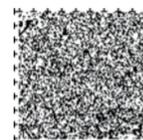
調査対象	校長	教員	保護者	企業の役員・経営者	一般都民
	1,933人	1,946人	2,231人	241人	1,131人
年齢	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代以上
	409人	1,333人	2,438人	2,678人	567人

※年齢未回答者が57人いるため、上下の合計は一致しない。



このパンフレットの内容を音声で聞くことができます。

この印刷物には、視覚に障害のある方への情報提供の手段として、音声コードを添付しています。音声コードは、活字文書読上げ装置で読み上げることができます。



～次代の東京を担う子供たちの豊かな心を育むために～

東京都教育委員会が実施した「東京の子供たちの豊かな心の育成に関するアンケート調査」の結果から、大人が子供の頃に親から教えられ、東京の次代を担う子供たちに受け継がせていきたい道徳的価値が明らかになってきました。



大人が子供の頃に、「しつけ」として親からよく言われたこと

※小・中学校学習指導要領の「道徳の内容」を基に作成した31項目のうち、40%以上の方が回答した内容

自立

～自分でできることは自分でしょう

生命尊重

～かけがえのない命を大切にしよう

反省・正直

～悪いことをしたら素直に謝ろう

規則の尊重

～約束したことは必ず守ろう

勤勉・努力

～地道に最後までやり抜こう

役割の自覚と責任

～自分のやるべきことは責任をもってやろう

誠実

～いつも明るく誠実に生きよう

勤労

～まじめに働くと、必ずいいことがある

礼儀

～礼儀正しく、挨拶をしっかりしよう

家族愛

～家族で協力しよう、助け合おう

思いやり・親切

～自分がされて嫌なことはやめよう

公正・公平

～差別するのはいけないこと

尊敬・感謝

～ありがとうという感謝の気持ちをもとう

豊かな道徳性をもった大人になるために、東京の子供たちに身に付けてほしいこと

※選択肢・回答の上位抽出の割合は左記と同様

自分自身について

自立
反省・正直
誠実
勤勉・努力

自然や崇高なものとのかかわり

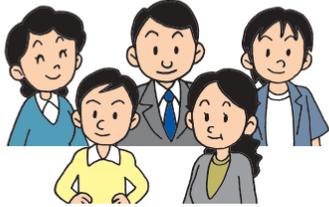
生命尊重

他の人とのかかわり

思いやり・親切
礼儀
尊敬・感謝

集団や社会とのかかわり

役割の自覚と責任
公正・公平
規則の尊重
勤労



大人に、子供の頃に「しつけ」として親からよく言われたこと、豊かな道徳性をもった大人になるために東京の子供たちに身に付けてほしいことをそれぞれ尋ねると、上位にある道徳的価値の項目のほとんどが重なっています。

人が人として社会で生きていくために、特に重視して育てていくべき道徳的価値が明らかになりました。



● 10年後・15年後の東京の主演は、今の子供たちです！ ●

今の子供たちは、これから10年後・15年後には、東京の発展を担い、次の世代の子供たちを育てる中心的な存在となっていきます。子供たちを取り巻く学校・家庭・地域が一体となり、子供たちに豊かな道徳性を育てていくことが、東京の未来を拓いていくことにつながっていきます。

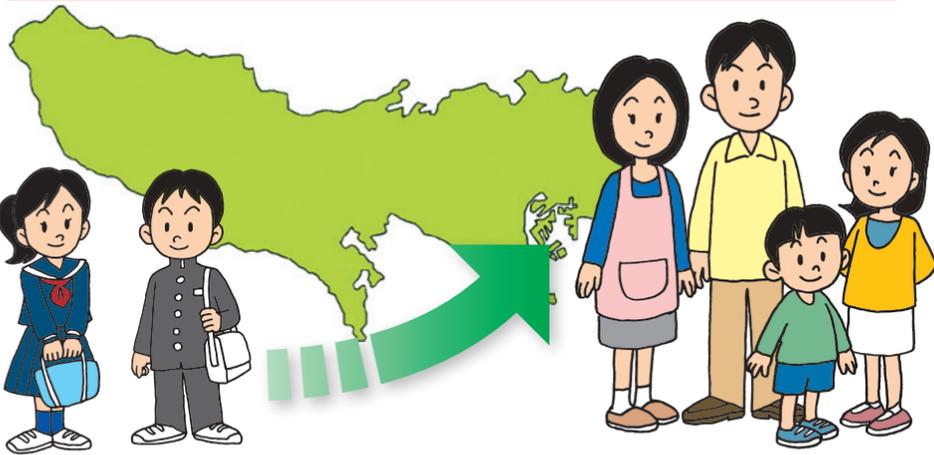
子供たちの心の教育は、学校・家庭・地域が一体となって進めていくことが大切です。



身近な大人一人一人が子供たちのお手本となって、子供たちが抱えている課題の克服と一緒に取り組みましょう。

どうしても課題になっていることに目をとられがちですが、大人が子供たち一人一人の個性や能力を認めて優れた点を見つけ、褒めて伸ばしていきましょう。

子供たちを取り巻く学校・家庭・地域の大人が、共通の課題意識をもって、子供たちの社会性を育てていきましょう。



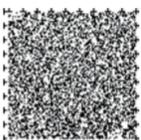
東京都教育委員会は、東京の子供たちに今後、規範意識や思いやりの心など豊かな心を育むために、道徳教育教材集を作成して児童・生徒に配布し、ご家庭と連携を図りながらその活用を進めていきます。

✓ 子供たちの豊かな心を育むために・・・ご家庭でも、こんなことをポイントに取り組んでみましょう！

子供たちの規範意識と思いやりの心を育みましょう



- 一日は「おはよう」で始め、「おやすみ」で終わらせましょう
- 子供たちに伝えるべき道徳的価値をもちましょう
- 人に迷惑をかけたときはきちんと子供を叱りましょう
- 欲しいものを何でも与えずに、我慢することを教えましょう
- 家族団らんの時間をもちましょう
- 我が家の決まりや行事をもちましょう
- 人に対するいたわりの気持ちを教えましょう
- 子供のために親がいかにか働いているかを教えましょう
- 自然の厳しさや美しさを肌で学ばせましょう



きら 煌めく青春 南関東総体2014

平成26年度に南関東四都県（東京都、千葉県、神奈川県、山梨県）を舞台に開催される全国高等学校総合体育大会の大会愛称、スローガン、シンボルマーク及び総合ポスター図案の入選作品が決まりました！四都県の中学生・高校生から応募のあった4,507点の中から選ばれた、最優秀作品と、作成した生徒のコメントをご紹介します。

大会愛称 **煌めく青春 南関東総体2014**

東京都立桐ヶ丘高等学校 4年次 白石 璃生さん
一人一人が主役となり、高校時代の青春を作りあげてほしいという願いを込め、「煌めく青春」というフレーズにまとめました。

スローガン **君の汗 輝く一滴 勝利の雫**

千葉県船橋市立湊中学校 2年 鈴木 諒介さん
辛く苦しい練習に耐え、全力を尽くした後におとずれる、勝敗を超えた清々しさや達成感を、選手の皆さんに感じてほしい、という気持ちを込めました。

シンボルマーク

山梨県立甲府西高等学校 3年 柳本 薫さん



四色で四都県をイメージしました。左上へ伸びる形は、お互い高め合って競争する様子を表し、円になっていくことで競い合う中でも協力し合っている様子を表しました。

総合ポスター図案

神奈川県立小田原城北工業高等学校 3年 池田 麻里子さん



背景の水色は冷静、赤色は情熱、黄色は感動、紫色は誇りをイメージしました。また、大会に挑む姿を、筆で描いたようなタッチにし、選手達の躍動感も表しました。

目指せ、インターハイ！みんなの出場を待っているよ！
大会の情報は、ホームページを見てね。
<http://www.2014soutai.jp/>



子供の体力向上東京大作戦

3月20日、第3回中学生「東京駅伝」大会開催！ 区市町村代表の中学2年生が襷をつなぎます。

第3回中学生「東京駅伝」大会 会場案内図
平成24年3月20日(水・祝)
メイン会場：味の素スタジアム



平成23年3月21日開催予定だった第2回大会は、東日本大震災の影響に伴い中止となりました。

今大会は、第2回大会と同じ味の素スタジアム及び都立武蔵野の森公園特設周回コースを舞台に開催します。

男子の部は17人がフルマラソンと同じ42.195km、女子の部は16人が30kmのコースで競います。皆さまの温かい応援をよろしくお願いします！



スポーツ祭東京2013

携帯サイトはこちら



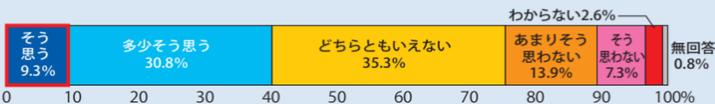
平成25年秋に東京で、スポーツ祭東京2013（第68回国民体育大会・第13回全国障害者スポーツ大会）が開催されます。味の素スタジアムは、大会のメイン会場となります。皆様のご支援をよろしくお願いします。
<http://www.sports-sai-tokyo2013.jp/>

都立高校と生徒の未来を考えるために「都立高校白書(平成23年度版)」を作成しました

東京都教育委員会は、魅力ある都立高校づくりを目指して取り組んできた「都立高校改革推進計画」の成果を検証し、現在の都立高校や都立中高一貫教育校の現状や課題点について明らかにするため、平成23年9月に、平成7年度以来の都立高校白書となる「都立高校と生徒の未来を考えるために「都立高校白書(平成23年度版)」を作成しました。
この白書で明らかになった、様々な「今日の都立高校に求められているもの」の中から、ごく一部ですがご紹介します。

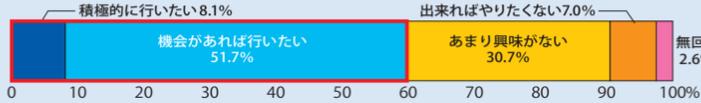


子供たちの学力向上が気になります。
都立高校生たちの学力は、十分に定着していますか？



「都立高校の現状把握に関する調査（都立高校生意識調査）」（平成23年度）から
都立高校生自身への調査で、「授業の内容を十分に理解している。」との問いに対し、「そう思う」と回答した生徒は9.3%にとどまっています。

昨年3月には東日本大震災もありました。
都立高校生たちは、ボランティア活動などに興味は持っていますか？



「都立高校の現状把握に関する調査（都立高校生意識調査）」（平成23年度）から
都立高校生自身への調査で、約6割の都立高校生が、ボランティアなどの社会貢献に関心を持っていることがわかりました。

「新たな都立高校改革推進計画」について

都立高校白書で明らかになった様々な課題を解決し、真に社会人として自立した人間を育成するために、東京都教育委員会では、「新たな都立高校改革推進計画」の策定に向けた準備を行っています。

「新たな都立高校改革推進計画」は、都立高校が抱える様々な課題の解決を図り、今後の展望を明らかにする総合的な計画で、平成24年度から平成33年度までの10年間の長期計画です。

これまでの取組

各都立高校では、生徒一人一人の進学希望の実現のために、学習指導や進路指導の充実を図っています。

また、平成23年度からは全ての都立高校で、組織的に生徒の学力を伸ばしていく「学力向上開拓推進事業」を行っています。

都立高校に求められているもの

各都立高校の設置目的に応じた、生徒一人一人の学力の確実な定着と学力向上への取組、都立高校を卒業する生徒への学力保障などが求められています。

これまでの取組

東日本大震災当日に帰宅支援ステーションとなった都立高校では、ボランティアとして活動した生徒もいました。

平成19年度からは、全ての都立高校で教科「奉仕」を必修とし、奉仕体験活動に取り組んでいます。

都立高校に求められているもの

防災教育の更なる充実を通じて、自分だけではなく他人を守ることができる人間を育てること、ふるさと「東京」のために貢献しようとする意識を高める取組を行うことが求められています。

この「都立高校と生徒の未来を考えるために「都立高校白書(平成23年度版)」は、東京都教育委員会ホームページに掲載しているほか、広く都民の皆さまにご覧いただくため、都民情報ルームでの販売を行っています。価格は**350円**で、都民情報ルームでは現金書留による郵送販売も行っています。ご購入の詳細は、直接都民情報ルームにお問い合わせください。

東京都教育委員会ホームページ
<http://www.kyoiku.metro.tokyo.jp/press/pr110922d.htm>
都民情報ルーム（都庁第一庁舎3F北側） 電話 03(5388)2276



年頭のごあいさつ

東京都教育委員会 委員長 木村 孟



明けましておめでとうございます。

昨年4月に、公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律（義務教育標準法）の改正が行われて、公立小学校の1年生の学級編制の標準を、現行の40人から35人に引き下げるといった決定がなされました。今のところ対象は小学校1年生ですが、これから、他の学年や他の校種に広がっていくことが期待されます。

東京都教育委員会では、従来から習熟度別少人数指導の充実に力を入れ、子供たちの学力の向上等に大きな成果を上げてきました。また平成22年度からは小1問題、中1ギャップといわれる問題に対処すべく教員の加配措置を独自に実施しており、各学校がその実情に応じて、学級規模の縮小、少人数指導又はチームティーチング等を選択することができる柔軟な仕組みを実施しています。

教員が加配された学校からは、子供一人一人に目が行き届くようになった、全体的に余裕ができて学習指導にも工夫が凝らせるようになった等、この仕組み

を歓迎する声が多く上がっています。特に、中1ギャップの予防・解決のための教員の加配については、今後の国の動向に影響を与えることが考えられるものでもあることから、その成果を大いに期待しています。

また、このほかにも東京都教育委員会は、今年、子供の学力・体力の向上、道徳教育の充実等に向けた様々な取組をさらに積極的に展開し、東京の子供たち一人一人の資質を最大限に伸ばしていく施策を進めていきます。

このように、国、東京都教育委員会とも、良い教育結果を産み出すために様々な努力を重ねていますが、教育改革国民会議（平成12年）が言うように、親は子供にとって、「人生最初の教師」です。保護者の皆様のご協力なしには、良い教育は実現できません。東京都教育委員会も頑張りますので、皆様方の特段のご支持とご理解をお願い申し上げます。

教育委員会の動き ～平成23年7月から11月までの活動について～

1 教育委員会の開催状況

平成23年7月から11月までに、9回の定例会を開催し、219件の議案と21件の報告について、審議等を行いました。その中から主なものをご紹介します。

- 【議案】
- 平成24年度東京都立高等学校入学者選抜における推薦に基づく選抜の実施方針について
 - 東京都立学校設置条例の一部を改正する条例の立案依頼外1件について
 - 平成23年度東京都教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価（平成22年度分）について
- 【報告】
- 平成23年度重点支援校の追加指定について
 - 東日本大震災当日の児童・生徒の下校状況等について
 - 平成24年度東京都立高等学校入学者選抜実施要綱・同細目について
 - 平成23年度「東京都教育の日」事業について
 - 「都立高校と生徒の未来を考えるために－都立高校白書（平成23年度版）－」について及び都立高校の現状把握に関する調査の報告について
 - アスリートによる「一日校長先生」・「部活動指導」事業の実施について
 - 小学校教諭採用予定者が子供と共に運動に親しむ取組について
 - 新たな都立高校改革推進計画（案）の骨子について

2 その他の活動

- 都立学校の周年行事に出席しました。
 - 大崎高等学校（内館委員）
 - 井草高等学校（瀬古委員）
 - 立川ろう学校（竹花委員）
- 「東京都教育の日」推進事業の視察を行いました。
 - 渋谷区立臨川小学校（木村委員長）
 - 練馬区立富士見台小学校（川淵委員）
 - 台東区立根岸小学校（内館委員・竹花委員）
- 校庭芝生化実施校の視察を行いました。
 - 練馬区立中村小学校（瀬古委員）
 - 新宿区立四谷第六小学校（瀬古委員）
- 10月5日に開催した平成23年度「スポーツ教育推進のための教員研修会（第1回）」講師として講義を行いました。（川淵委員）
- 10月7日に開催した東京都教育実践発表会を視察しました。（竹花委員）
- 11月3日に開催された全国高校駅伝競走大会東京都予選で、都立高校の選手たちを激励しました。（瀬古委員）



10月7日 東京都教育実践発表会



10月28日 練馬区立中村小学校

教育委員会は、原則として毎月第2・第4木曜日に開催しています。開催状況・会議録は東京都教育委員会ホームページに掲載しています。



話してみよう あなたの心配

～東京都教育相談センターの御案内～

子育ての悩みや不安、いじめ、不登校など



電話 03(5800)8008

ホームページ <http://www.e-sodan.metro.tokyo.jp>

平日 午前9時から午後9時まで 土日祝 午前9時から午後5時まで（年末年始等を除く。）

※上記以外及び閉庁日は、留守番電話及び電子メールによる対応をしています。

メールはホームページから入れます。

いじめ相談ホットライン

電話 03(5800)8288

〈24時間受付〉

外国人児童・生徒相談

〈受付日時〉毎週金曜日 午後1時～4時

〈対象言語〉中国語、英語、韓国・朝鮮語

〈相談対象年齢〉幼児から高校生相当年齢

※電話による予約で来所の相談も受け付けています。

進路相談会

進路についての情報や助言を得にくい状況にある生徒や保護者の皆さんに対し、適切な進路選択ができるよう応援します！

第6回 平成24年1月21日(土)

東京都教職員研修センター(水道橋)

※第6回は、個別相談のみの開催です。

自転車の安全利用に関するお知らせ

最近、自転車ブームの一方で、自転車の交通事故が増えています。また、事故には至らなくても、ヒヤリとした経験がある方は多いと思います。

自転車の正しい乗り方を知らない方、あるいは自転車の交通ルールは知っていても、少しぐらいならと安易な気持ちでルールを守らない方が増えているのではないのでしょうか。

そこで東京都では、自転車の交通ルールの周知とマナー向上を目指して、以下の自転車安全利用五則の啓発に取り組んでいます。

自転車安全利用五則を守りましょう！

- 自転車は、車道が原則、歩道は例外
- 車道は左側を通行
- 歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行
- 安全ルールを守る（信号遵守、夜間ライト点灯、二人乗り禁止など）
- 子供はヘルメットを着用

こんな運転モラル違反です！



これらの行為は事故のもとです。非常に危険なのでやめましょう。罰金 5万円以下の罰金

歩道は歩行者のための道です。歩いている人に道を譲りましょう。

東京都青少年・治安対策本部総合対策部交通安全課 03(5388)3127

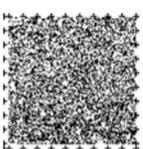
さまざまな統計調査を定期的に行っています。調査員がご家庭・会社等に伺いましたら、ご協力をよろしくお願いいたします。

統計調査

- 労働力調査 毎月実施
- 家計調査 毎月実施
- 小売物価統計調査 毎月実施
- 個人企業経済調査 四半期ごとに実施

皆さんの個人情報、厳重に保護されます。総務省統計局・東京都 <http://www.toukei.metro.tokyo.jp>

東京都教育相談センター 〒113-0033 東京都文京区本郷1丁目3番3号 <http://www.e-sodan.metro.tokyo.jp> 電話 03(5800)8545(代表) ファクシミリ 03(5800)8402



ときよの教育 第96号 平成24年1月1日発行
編集・発行 東京都教育庁総務部教育情報課 東京都新宿区西新宿二丁目8番1号
電話 03(5320)6733 ファクシミリ 03(5388)1726
デザイン・印刷 株式会社 イーパワー